

健康

質問

50代の男性です。体のたるさが続いていたため、病院を受診しました。画像検査でリンパ節が腫れていることが分かり、組織検査の結果、腺がんでリンパ節に転移していることが判明しました。しかし、いろいろと検査したものの、転移元は不明で、原発不明がんと診断されました。「がん遺伝子パネル検査で有効な治療法が見つかるかもしれない」と担当医師に言われました。詳しく教えてください。

遺伝子パネル検査



藤野 泰輝  
徳島大学病院がん診療  
連携センター特任助教

回答

近年の研究から、がんはさまざまな遺伝子の異常が積み重なって発症することが分かってきました。

一度に複数の遺伝子変化を調べることができる検査として、がん遺伝子パネル検査があり、がんの原因遺伝子を特定し、転移元を推定することも可能な場合があります。検査で判明した原因遺伝子の結果を基に、分子標的薬などを用いて個別化医療を行うことを「がんゲノム医療」と言います。今後の医療の中心の一つになっていくでしょう。

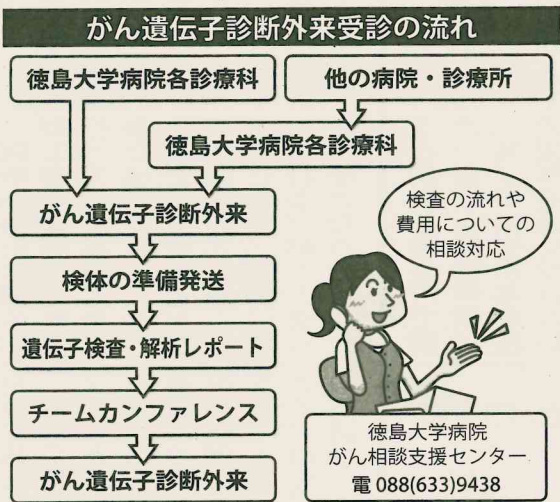
原発不明の患者に有効



先進医療として行うがん遺伝子パネル検査は、

厚労省の基準を満たすがんゲノム医療中核拠点病院との連携病院に限って認められています。今春、東京の国立がん研究センター中央病院から順次始まります。

徳島大学病院は、がんゲノム医療連携病院に指定されています。先進医療としてのがん遺伝子パネル検査は今秋以降に開



※外来日：月曜日 午後2時半～4時半(完全予約制)



費用高額 受診前に検討を

ある医療機関では、パネル検査を受けた10〜20%の患者が治療まで受けることができたというデータがあります。しかし、原因遺伝子が見つからない場合や、見つかったても有効な治療が受けられない場合があり、注意が必要です。原発不明がんの患者には有効な検査だと思えます。しかし、検査費用が高額で100万円近くかかることもあり、受診前によく検討してください。(第4土曜掲載)

がんに関する質問は徳島がん対策センター〈電088(634)6442〉(平日午前8時半から午後5時まで)へ。

